



祝
2016
入学式



自己教育力シート

理事長 佐藤 一郎

本学のカリキュラムは、人材養成像に基づくカリキュラム、キャリア教育の促進、ゆとりあるカリキュラムの構築そして「全人的自立」の実現の4つの視点から全体が見直され、2014年から新カリキュラムの下で授業がスタートしています。全学共通科目も学生実態や社会が求める資質や能力という観点から全面的に見直され、初年次、四国大学スタンダード、キャリア、教養及び外国語教育の5つの柱に再編成されました。四国大学スタンダードでは、建学の精神「全人的自立」教育の実現に向けて、大学生活や人生そのものを充実させるために確実に身に付けて貰いたい態度や能力として、社会人基礎力、人間・社会関係力及び自己教育力の3つの力を抽出しました。

中でも自己教育力は自己成長のために意欲を以てものごとに取り組み絶えず努力する力のことで、在学期間を通して専門学習或いは課外活動やボランティア活動また大学行事への参加等を機会に、教員等との交流や形成的評価を介して培っていくものです。その際の支援ツールとして本学では大学のコンピュータネットワーク上に自己教育力シートを整備しており、このシートは学生生活の目標設定、活動記録、振り返りと他者評価による客観化、そして新たな目標設定という学生生活全般にPDCAサイクルを回すよう工夫されています。

- ① 目標と振り返りが学生の自己成長を促す。
- ② 自己の経験を言語化することは、学生に客観的視点を持たせる上で役立つ。
- ③ 学生の変化や成長を見逃さず、適宜励ますことで自己効力感を育むことができる。

このような自己教育力シート活用の利点を関係者が共通理解して、本学が目指す「成長を実感できる大学」の実現に向けて努力して参ります。



より多くの入学生、活躍への期待

学長 松重 和美

平成28年度春、キャンパス内は一層賑やかな雰囲気になっています。18歳人口の減少が続く中、今年の大学全体の入学者は昨年に比べ約8%増えました。看護学部や管理栄養士養成課程への根強い人気に加え、児童学科、幼児教育保育科や経営情報学科、芸術館の竣工も関係してか、音楽科や生活科学科（デザイン系）の入学者が大幅に増えました。これ迄の大学改革に関連する諸事業や最近の地域と密着した取組み（COC：地（知）の拠点整備事業）などの成果が出始めたものではないかと考えています。

もう一つ、今年の特徴はスポーツ分野での入学者の増加と活躍です。特別入試・奨学金制度の創設・拡充などで昨年比約2倍のアスリートが入学して来ました。陸上（円盤、砲丸投げ）の幸長君や女子サッカー部等、特に女子バレー部の充実は即刻春の大会で県内1位となり、皇后杯、インカレへの出場も期待されます。しらすぎ球技場では、ラグビーも含めた学外団体の利用も多くなり、スポーツを通じた地域の活性化に四国大学は大きく貢献しています。

今春の就職率は過去最高で、種々暖かいご支援・ご配慮を頂いています父母会、同窓会、そして後援会の皆さん方に心より感謝しつつ、在学生の皆さんのこれからの活躍を大いに期待しています。

平成28年度

父 母 会 だ よ り



父母会会長あいさつ

父母会会長 中 川 恭 子

父母会役員を代表して、御挨拶申し上げます。

父母会会員の皆様におかれましては、日頃から本学教育の充実並びに振興に御尽力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。また、本学教職員、関係者の皆様には御指導を頂き、厚くお礼申し上げます。

去る4月3日、本学入学式が盛大に挙行されました。式後の父母会入会式には、多くの父母の方々に御出席頂きました。入学からひと月が経ち、新入生の皆さんは大学生活に慣れてきた頃でしょうか。

4月中旬には熊本地震が発生し、九州北部は甚大な被害を受け、被災地の多くの皆様が避難所生活を余儀なくされているなど、生活そのものが脅かされていることに、心痛の念に耐えません。また、4月28日付『徳島新聞』において、東日本大震災の翌年3月に本学学生が岩手県で漁業のお手伝いをするボランティアの記事を目にしました。いろいろな世界に興味を持ち、自分の出来ることで人のために役に立とうとするボランティア精神は、人間としての品格を高めてくれることと思います。

地震や地球温暖化など、私たちが抱えるテーマは大きいですが、日本は四季があり、豊かな自然に恵まれた国です。風薫る新緑の眩しい季節、木々や花々に親しみ、人間同士のつながりを深めるように、自然と人間との共生という気持ちを育みながら、生きていかなければと感じます。豊かな自然は、疲れた心と身体をリフレッシュさせてくれることでしょう。

今年度も、会員の皆様には、御助言、御協力をお願いします。

教育研究活動等の成果として、更なる成長を図るための援助や補助をお願いさせていただきました。

ご参加いただきました皆様方にお礼を申し上げますとともに、今後の諸活動への絶大なる支援をお願いするところであります。



平成28年度 父母会入会式

4月3日(日)11時15分より本学体育館において、入学式、オリエンテーションに引き続き、平成28年度父母会入会式が執り行われました。本年度入学された学生の保護者835名の皆様方のご臨席のもと、中川父母会会長のご挨拶を頂戴するとともに、大学側からは、松重学長よりご挨拶をさせていただきました。

議事につきましては、父母会会則の概略説明等を実施し、建学の精神「全人的自立」のもと、学生の皆さんが

平成28年度 父母会懇談会等日程

総 会

平成28年6月12日(日) 13:00～
共通講義棟 R101教室

評議員会

第1回 平成28年6月12日(日) 10:30～
本館4階 大会議室
第2回 平成28年11月12日(土) 10:30～
本館4階 大会議室

例年開催している総会後の学科・専攻別面談については、それぞれに会場を設置し、各担当者より履修科目や国家試験等について、充実した説明の時間を設けています。

毎年ご参加いただいた保護者の皆様方からは、直接大

学生生活についての相談ができることや、進路決定に向けて、それぞれの個性に応じた効果的な話し合いができることから、大変有意義だったとの感想を頂戴しています。是非、みなさまのお越しをお待ちしております。

父母懇談会開催予定

開催地区	場 所	日 時
徳島県地区	四国大学各学科講義棟	6月12日(日)総会終了後
沖縄県地区	パシフィックホテル沖縄(那覇市)	6月26日(日)午前10:00～
香川県地区	オークラホテル高松(高松市)	8月27日(土)午前10:00～
中国地区	ホテルJALシティ広島(広島市)	8月28日(日)午前10:00～
高知県地区	ザクラウンパレス新阪急高知(高知市)	9月3日(土)午前10:00～
愛媛県地区	いよてつ会館(松山市)	9月4日(日)午前10:00～

(後日該当地区の会員の皆様にご案内します)



平成28年度 四国大学入学式

平成28年4月3日(日)うらかな春の日差しの中で、大学院第18回、大学第51回、短期大学部第56回入学式が本学体育館にて行われました。

式では、松重学長が「これから始まる学生生活では自分を成長させ、グローバル社会で活躍するために必要な幅広い教養・人間性を身に付けてください」と激励の言葉を送りました。

新入生代表として、生活科学部生活科学科 幸長慎一さんが「学術の研究と人格の陶冶に努めます」と、誓いの言葉を述べました。

入学を許可された大学院文学研究科3名、経営情報学研究科4名、人間生活科学研究科3名、看護学研究科7名、大学文学部104名、経営情報学部126名、生活科学部271名、看護学部89名、短期大学部185名の合計792名が、新たな学生生活をスタートさせました。

入学式終了後、統一オリエンテーションが実施され、関係各課から学生生活や学生サポート体制、就職活動等についての説明がありました。その後、各会場に分かれて学科別オリエンテーションに臨み、キャンパスライフへの希望を胸に新たな第一歩を踏み出しました。



陸上投擲競技 幸長慎一 選手(生活科学科1年 円盤投・砲丸投 日本ジュニア・日本高校記録保持者)入学 2020 東京オリンピックでの活躍を期待



四国大学へ入学して

生活科学科1年
幸 長 慎 一

私は四国大学に入学してから、一人暮らしをして勉強と陸上競技を両立できるように努力しています。中学時代・高校時代では、全国大会で優勝することができました。大学でもインカレに優勝することが目標で気持ちを新たにしています。また、高校生の時と変わらず同じ練習場で一生懸命日々練習に取り組んでいます。競技での最大の目標は、2020年の東京五輪出場です。そのためには、日本選手権で優勝すれば出場できるようになってい

ます。その目標に向かいながらいつも大学関係者の方々や外部コーチをはじめ、多くの方に支援して頂いていることに感謝しています。目標を立てたからには、あきらめずに最後までやり通したいと思います。少しでも、四国大学に貢献できるように努力しますのでよろしくお願いします。



新入生の声



長野 勇輝

■大学院文学研究科日本文学・書道文化専攻修士課程

大学院では書道の文化・歴史的背景・思想などの、大学在学時に十分研究しきれなかった専門的な領域へと学習を広げ、より深みのある研究として修士論文を完成させたいと思っています。



吉田 和師

■大学院経営情報学研究科博士前期課程

私は、税理士資格取得のため、租税法の研究をすることができる四国大学大学院に入学しました。

大学院と仕事との両立は、大変ですが、同じ志を持った同期生と共に、大学院での研究に励みたいです。



鈴木 恵理

■大学院人間生活科学研究科人間生活科学専攻修士課程

私は、学部生のときに授業や実験を通して微生物学や食品衛生学に興味を持ち、さらに食品衛生に関する研究を続けていきたいと思い大学院に進学を決めました。大学院では、専門的な内容を先生方から近い距離で学べ、また自分の意見を問われることも多く知識不足を痛感することも多々ありますが、その環境にとても充実性を感じています。将来は、大学院で得た知識を生かせる職業につきたいと思っています。



河上 高徹

■大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

私は四国大学看護学科の一期生として卒業し、現在は徳島県立中央病院で勤務しています。看護学研究科へ入学した理由は、日々の看護実践をより科学的根拠に基づいて実践する力を身につけたいと考えたことと、体験入学に参加して先生方の看護学に対する熱意に敬服したことです。大学院入学後は志の高い仲間や教員と共に日々楽しく学びを深めています。



田中 椎奈

■文学部日本文学科

私には教師となり子供たちに知識のレレーをするという夢があります。そして日本文学科では国語教員免許を取得できるので入学しました。時に知識不足に悩まされるときもありますが、夢を叶えるためにも日々努力し続けていこうと思います。



谷岡 力

■文学部国際文化学科

私は小さな頃から洋画や洋楽に興味を持っていました。私は英語を学ぶことが楽しいと感じ、英語の楽しさを生徒達に橋渡しする教員になりたいです。四国大学は、姉妹校を海外に4つ持っているので交換留学生との交流などを通し、確かな知識を身につけていきたいです。



田中 雅人

■経営情報学部経営情報学科

オープンキャンパスに来た時、先生方や先輩方が丁寧に案内して下さいました。笑顔あふれる学生がたくさんいて、楽しいキャンパスライフを送れそうだなと思いました。また、弓道の面も優しい先輩や先生が丁寧に指導して下さいると聞き、受験を決めました。これから4年間部活、勉強、行事とたくさんのかに関わりを持ち、充実した生活を送りたいです。



岡内 晶

■経営情報学部メディア情報学科

私は高校で情報処理を学び、更に知識を深めたいと思いメディア情報学科に進学しました。

実際に講義を受けてみると、情報処理の他にも興味深い科目ばかりで驚いています。

現在は、今まで知りえなかったコンピューターの面白さや可能性についてこれから学ぶのだと思うと、期待と興奮で胸がいっぱいです。



安部 勇人

■生活科学部児童学科

僕が本学に志望した理由は、幼稚園や保育士の免許を取得するのがありますが、本当は違います。本当の理由。それは、大学ではたくさんの事に、チャレンジしにきました。

例えば、僕は中学くらいの時から歌うのが大好きで、バンドを組んで歌うのがずっと夢でした。そこでBAND部に入り、夢を叶えていきたいと思えます。ギターを弾いたことも、大勢の前で歌ったこともないので、これからが楽しみです。新しい壁を壊してやる。



兵頭 舞

■生活科学部管理栄養士養成課程

私が四国大学を志望したのは、専門分野だけでなく幅広く学ぶことに魅力を感じたからです。また、私は友人や両親に頼ってしまうところがあるのですが、「全人的自立」という建学の精神を知り、自己管理を上手く出来るようになるのではないかと思います。四国大学で管理栄養士になるという夢を実現したいです。



栗本つみき

■看護学部看護学科

4年前に他界した祖父の「親身になり話を聞いてくれる看護師さんがいたら入院生活も楽しいだろうな」と言っていた言葉を思い出す。今、私は祖父の言葉のような看護師になる夢に向かい歩み始めた。



近藤 綾香

■短期大学部人間健康科食物栄養専攻

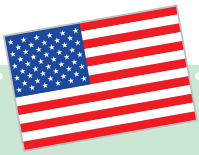
私は、家族や身近な人の健康を守るような仕事に就きたいと思い入学しました。人が健康を保つためには正しい食生活を身につける事が一番大切だと思いました。それと共に母も「食」と繋がりが仕事をしており、私も、そのような仕事をしたいと思いました。様々な人との会話や新しい経験を積むことで豊かな自己概念をもてると考えました。将来は食に対するきめ細やかな配慮のできる栄養士になれるよう日々努めたいです。



流 希実

■短期大学部幼児教育保育科

私は徳島に根付いた温かみのある四国大学で、保育者になるための知識や技術を学びたいと思い入学しました。子どもたちが私に会うのを楽しみに来てくれるような保育者になることが目標です。日々、学業に励みながらサークル活動も頑張りたいと思います。



留学生の声

中国湖南省湘潭大学(XTU)より11名 米国サギノーバレー州立大学(SVSU)より3名留学



キャロライン サワスキー
Caroline Sawatzki

四国大学に来ることができてとてもうれしく思っています。ライティングチューターとして学生さんの英語のライティングスキル向上のお手伝いをすると同時に日本文化をもっと学びたいと思っています。

学生さんと積極的に話をして日本語会話の練習をしたいと思いますし、また学生さんには私を相手にどんな英語で話をしてほしいと思います。たくさん新しい友達をつくりたいので、気軽に声をかけてください。

四国大学で過ごす時間はとても楽しく、みなさんから温かい歓迎を受けてとても感謝しています。学生さんと教職員の皆様のおかげで、四国大学で過ごす時間がとても特別なものになっています。



ティモシー クーパー
Timothy Cooper

これまでの四国大学での生活はとても楽しく、毎日素晴らしい日々を過ごしています。

日本での私の目標は、いろいろな日本文化を学ぶことです。日本語を学ぶことも私の目標の一つです。四国大学で日本語の授業を受けていて、これまでたくさんの日本語を学びました。

四国大学の学生さんは皆さんとても魅力的でフレンドリーです。この大学について私が素晴らしいと感じていることは、「人」です。このことは日本全体についても言えることです。私が会った四国大学の人々は、相手を敬う心、もてなす心、そして真の友情を持っています。将来是非何度も日本を訪れたいと思っています。この美しい文化と芸術の地に来る機会を与えていただき本当に感謝しています。



たん そう
譚 争

四国大学に来て、もう1か月が過ぎました。留学する前、最も心配していたことは言葉の違いです。留学して最初の頃、異国で生活する孤独感、無力感が偶に心に湧き上がって、「ここは外国だ」と強烈に感じました。でも、そんな時、四国大学の先生方は私に対してすごく優しく、いろいろと助けてくださいました。この優しさのおかげで、私の心の中の不安や緊張はどんどん消えていきました。

慣れない環境で生活することは、決して楽しいことばかりではありません。でも、困難を乗り越えることができれば、もっと洗練された人間になることができるのではないのでしょうか。「苦あれば楽あり」。これから、留学生活の面白さを楽しみたいと思います。



ザッカリー ナイン
Zachary Nine

四国大学でたくさんの友達を作って、日本文化を理解したいと思っています。徳島の風景や食べ物、人々が大好きです。

日本語を学ぶのはとても楽しいですが、とても難しいです。日本を離れるまでに日本語をそれなりに話せるようにになりたいです。帰国しても、この夏にサギノーバレーへ交換留学する四国大学の学生さんとアメリカで日本語の勉強を続けたいと思っています。四国大学の学生さんが僕たちを助けてくれているように、彼らのお役に立ちたいと思います。僕たちを歓迎してくれて本当にありがとうございます。



こう せいがい
黄 靖怡

このたび、訪問学生として四国大学へ留学することができ、心から感謝いたします。入学以来、先生方にはいろいろお世話になっています。先生方は家族のような存在で、いつも私たちのために考えてくださいます。四国大学の学生のみなさんもすごく優しく、どんな問題があっても、助けてくれます。私の日本語はあんまりよくないですが、みなさん気づかってくださって、できるだけ簡単な言葉で話してくれます。

留学の間に日本語を学びながら、英語も身につけたいです。授業でも生活でも、日本人の優れた特質を知ることができ、とても勉強になります。私も自分自身の価値を高めるために頑張ります。



ちょう か ぎん
趙 佳欣

四国大学に来て、そろそろ1か月になります。メディア情報学科の学生として、授業を受け始めて、もう2週間です。

この間に、周りの先生と学生の助けを借りて、徐々に日本での生活に慣れてきたし、日本人の優しさと厳しさは私に深い感情を与えました。日本は中国と異なる魅力を持つ国だと思います。私は、この1年間、日本語や英語や自分の専門科目はもちろん、日本の歴史と文化も勉強したいです。そして、日本の大学院に進学したいので、まじめに学ぶつもりです。

全学球技大会

爽やかな晴天の下 クラス団結!!

5月19日(木)恒例の全学球技大会が開催され、体育館で3競技、日ノ上運動場で3競技、吉野川北岸グラウンドで1競技に、1,300名を超える学生が参加しました。

本大会は今年度最初の全学研修行事であり、新入生にとってはクラスメイトや先生方、先輩たちと触れ合い、クラスの団結を図る良い機会ともなりました。

晴天に恵まれ、早朝から多くの学生が詰めかけ、盛大に開会式が実施されました。その後、各会場に分かれてそれぞれの競技で熱戦が展開され、盛況のうちに無事終了することができました。

全学球技大会を開催するにあたり、ご協力いただきました実行委員の皆さん、教職員の方々、ありがとうございます。試合結果は表のとおりです。

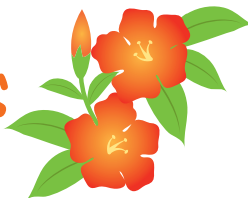
平成28年度全学球技大会試合結果

参加者総合 1,324名

競技種目	優勝	準優勝	エントリー数	参加者数
バスケットボール	男子 経営情報学科2年	国際文化学科3年	6チーム	38
	女子 管理栄養士養成課程2年	児童学科4年B組	15チーム	116
ソフトバレー	経営情報学科2年	児童学科3年A組	59チーム	325
ソフトボール	児童学科2年A組	経営情報学科3年	14チーム	129
ドッジボール	短大音楽科1年	児童学科3年	21チーム	273
サッカー	児童学科3年	経営情報学科1年B組	18チーム	169
卓球	男子 生活科学科2年(畑・真鍋組)	短大ビジネス・コミュニケーション科2年(森野・浪花組)	18ペア	36
	女子 生活科学科1年(山田・藤田組)	看護学科2年(金城・楠本組)	84ペア	168
ソフトテニス	男子 管理栄養士養成課程1年(田中・亀井組)	メディア情報学科2年(中川・平山組)	7ペア	14
	女子 児童学科1年A(生松・尾藤組)	短大幼児教育保育科1年A(渡守・石川組)	28ペア	56



芳藍賞受賞のよろこび



久國 豊明

■ 大学院生活の2年間、私は様々なことを経験し、多くのことを学ぶことができました。

講義では大学の時とは違い、より入り組んだことを議論し、考察を繰り返し、より適確な答えを導き、その探究心は修士論文にも役立ったのではないかと思います。私は歴史小説創作を課題として取り組みました。試作段階を経て、今後は出版に向け、より完成度を高めていきたいと思います。



佐藤 啓子

■ このたびは芳藍賞という名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。入学当時は不安ばかりでしたが、先生方や周りの方々の支えや協力等があり、なんとか卒業式の日を迎える事ができました。2年間大変お世話になりました。大学院でのすべての出会いに感謝しながら、さらなる目標に向けて精進していきたいと思います。



中澤 彩

■ 私は芳藍賞をいただけるなんて思ってもみませんでした。ただ学校栄養職員を目指して必要だと思う授業をこなしていただけだからです。私は、目標に向かってまず行動に移してみる事の大切さを学びました。そうすると自ずと、今の自分に必要なことが見えてくると実感し、これから学校栄養職員として活かしていきたいと思います。自分らしさをあきらめず、大学院に進学して大正解でした。



宮城絵美奈

■ 大学生活中の一番の思い出は、阿波踊りクラブでの活動と、卒業研究です。それぞれの活動では、困難につき当たったこともありましたが、その分乗り越えた先の達成感や感動は大きかったです。そして何より、活動を通じて人との繋がりの大切さを再確認できたことが、一番の喜びでした。最後になりましたが、支えてくださった全ての方々に心からお礼申し上げます。



満村 泰子

■ 私はこの度、平成27年度卒業式において栄えある芳藍賞を頂き、大変嬉しく感謝しています。私達の学科には書は勿論のこと、芸術的才能に優れた素晴らしい学生が多く、私もその影響を強く受け今回の受賞に撃けることができました。お世話になった周りの方々のご恩を忘れず、今後に生かせるよう努めます。有り難うございました。



溝渕 美香

■ 私は5年前、何の目的も無しに四国大学に入学しました。しかし、かけがえのない友人や、私の英語力向上のために全力でサポートしてくれる先生方に出会い、四国大学に入学した意味を見つけることができました。大学になんとなく入学したという人も少なくないと思いますが、視野を広げてさまざまなことに挑戦しながら進学した意義を見つけてほしいと思います。



井野 萌果

■ この度芳藍賞を頂けたことを非常にうれしく思います。これもひとえに、学生生活を支えてくださった先生方をはじめとする職員の皆様方、そして家族のおかげです。心より感謝申し上げます。四国大学で過ごした4年間は、なにものにも代え難い貴重な日々でした。これから学生生活を送られる後輩の皆様方はどうか大学生活を謳歌してください。



梶本 茉那

■ まさか大学生活の最後に、芳藍賞という名誉ある賞をいただけるとは思ってもみませんでした。真面目だけを取り柄に頑張ってきた甲斐がありました。大学4年間楽しかったなと思えるのは、素敵な先生方と優しい友達がいたからだと思っています。本当にありがとうございました。笑顔でいれば、とりあえず何でもどうにかなる！



川村 美透

■ 私にとっての4年間の大学生活は、今思えば本当にあっという間で、それくらい充実していたことだと思います。特に4年生では、就職活動や実習、また管理栄養士国家試験の勉強など大変なこともありましたが、その分たくさんのことを学び、多くの人に支えられて自分が大きく成長できた1年でした。後輩の皆さん、多くの事にチャレンジして充実した大学生活を送ってください。



山本あすか

■ 芳藍賞という名誉ある賞をいただき大変嬉しく思います。学業、サークル、友人と過ごした時間等、大学での4年間は全てが大切な思い出です。また、熱心にご指導して下さった先生方や共に学んできた友人、手話サークルの仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。在校生の皆さんには有意義な学生生活を送って欲しいと思います。ありがとうございました。



河野 円香

■ この度は「芳藍賞」という名誉ある賞を頂き大変嬉しく思います。私は4年間、好きなこと興味のあることに全力で取り組むことができました。これは当たり前なことではなく先生方や友人、家族などたくさんの人が支えてくださったからだと感謝しています。今度は私が、周りの人の支えとなれるよう努力していきます。在学生の皆さん、人との出会いを大切に充実した学生生活を送ってください。



北峯 奈美

■ この度は芳藍賞という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思っております。大学時代には、学業や阿波踊りクラブでの活動に全力で取り組んできました。現在は、夢であった幼稚園教諭として、毎日充実した生活を送っています。四国大学で得た経験や思い出は私にとって一生の宝物です。



藤原 瑞穂

■ 大学を卒業し、この4月から看護師として勤務しています。新しい環境での一人暮らしに、研修詰めの日々で、もう学生ではないことを実感しています。看護師として、これからが本当のスタートです。今は、目の前のことに精一杯取り組み、明日につなげられるよう、ここでの日々を大切にしていきたいと思っています。



柳田麻衣菜

■ 私には、保健師になりたいという夢がありました。学習・就職・国家試験など大変なこともたくさんありましたが、友人たちと共に乗り越え、夢を叶えることができました。またBAND部に所属し、芳藍祭やライブ等でバンド活動をしたことも貴重な経験になりました。大学生活はあっという間です。ぜひ色々なことに挑戦してみてください。



森 美怜

■私は大学で出会ったたくさんの友人や先生方のサポートのおかげで充実した大学生活を送ることが出来ました。勉強やサークル活動に取り組み成長出来た2年間でした。そして芳藍賞も頂くことが出来、大学生活の2年間すべてがかげがえのない思い出です。今後は社会人として日々成長していきたいと強く思っています。



宮本 侑季

■2年間の大学生活は講義に実習や実験と忙しい毎日でしたが先生方や家族、友達の手助けのおかげで無事卒業することができ、今は保育園の栄養士という仕事に就くことができました。これからも2年間で学んだこと、感謝の気持ちを忘れず、「食」の観点から子どもたちの健康を支える立派な栄養士になれるよう努力していきます。この度は芳藍賞という名誉ある賞を頂き、ありがとうございます。



中尾 智美

■この度は、芳藍賞という名誉ある賞を頂きありがとうございます。熱心にご指導頂いた先生方と共に学び支え合った年代の違う同期生に感謝の気持ちでいっぱいです。在学中は、人とのつながりや関わりの中で色々なことを考え、相手を思い行動することの大切さを再確認することも出来ました。今後も在学中に学んだ「福祉の精神」や「尊敬と自立」を尊重できる介護福祉士を目指し日々邁進していきたいと思っています。



二神 柚葵

■この度はこのような名誉ある賞を頂き、本当にありがとうございます。在学中は、実習や講義、大学での行事など多くの経験を重ね、有意義な時間を過ごすことができました。また、終始熱心にご指導下さった先生方、共に楽しみ、励まし合ってきた友人には本当に感謝しています。現在は保育士として働いていますが、大学で学んだことを活かし、職場でも精進していきたいです。



近藤 菜央

■私は大学で音楽の勉強とソロコンクールに向けての練習をしていました。大学に入って初めてソロコンクールに挑戦し、緊張と不安でいっぱいでした。しかし、先生方からのアドバイスののおかげで、2年連続全国大会出場することができました。2年間とても短かったですが、ソロコンクールに挑戦することが出来て良かったです。



郡 彩佳

■このたびは芳藍賞という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。在学中では県展、高大展、読売展や謙慎書道展などたくさんの書道展へ出品し、またたくさんの先生方にご指導があったからこそこの芳藍賞を頂くことが出来たと思います。卒業後も活動を続けていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



見世亜紀子

■この度は、芳藍賞という名誉ある賞をいただくことが出来、大変嬉しく思います。この4年間、私が一生懸命書道にうちこむことが出来たのは熱心にご指導下さった先生方や、夜遅くまで作品制作に取り組む切磋琢磨してきた仲間のおかげです。また四国大学で多くのことに挑戦することができ、良い経験になりました。これからも、書道を続けていき、邁進できるよう頑張っていきます。



三宅 萌子

■この度は名誉ある素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。あつという間の4年間の大学生活、書道と真摯に向き合い、書の奥深さを実感し、大学で様々な経験を通じて多くのことを学びました。先生方をはじめ先輩や友人、周りの方々に支えて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も多くの方に「書の魅力」を発信していけるよう努力していきます。



宗本真里奈

■私は在学中、絵に関する創作活動を熱心に行っていました。授業ではデザインの勉強をし、その知識を絵に活かし作品の幅を広げていきました。好きなことを全力で出来る最高の環境が四国大学にはあり、助言してくださる先生方に1学年の時から支えていただきました。後輩の皆さんには、ぜひ今ある環境を存分に利用し、多くの人と接し、技術だけでなく大切なことを学んでいただきたいです。



板東 璃奈

■私が今回この芳藍賞という素晴らしい賞を受賞することができたのは私一人の力ではなく、ご指導くださった先生、先輩方や共に切磋琢磨し高め合った同級生や後輩など様々な人のおかげであると感じています。これからの大学生活、就職活動や国家試験に不安を抱いている人もいるかもしれません。仲間と協力して共に立ち向えばどんな困難も乗り越えられます。頑張ってください。

平成27年度 芳藍賞受賞者

【学業・研究の分野】

〈大学院〉

- 1 大学院文学研究科日本文学・書道文化専攻修士課程 2年 久 國 豊 明
- 2 大学院経営情報学研究科経営情報学専攻博士前期課程 2年 佐 藤 啓 子
- 3 大学院人間生活科学研究科人間生活科学専攻修士課程 2年 中 澤 彩

〈大 学〉

- 4 文学部日本文学科 4年 宮 城 絵美奈
- 5 文学部書道文化学科 4年 満 村 泰 子
- 6 文学部国際文化学科 4年 溝 渕 美 香
- 7 経営情報学部経営情報学科 4年 橋 本 吾 代
- 8 経営情報学部メディア情報学科 4年 井 野 萌 果
- 9 生活科学部生活科学科 4年 梶 本 茉 那
- 10 生活科学部管理栄養士養成課程 4年 川 村 美 透
- 11 生活科学部管理栄養士養成課程 4年 山 本 あすか
- 12 生活科学部児童学科 4年 河 野 円 香
- 13 生活科学部児童学科 4年 北 峯 奈 美
- 14 看護学部看護学科 4年 藤 原 瑞 穂
- 15 看護学部看護学科 4年 柳 田 麻衣菜

〈短期大学部〉

- 16 短期大学部ビジネス・コミュニケーション科 2年 森 美 怜
- 17 短期大学部人間健康科食物栄養専攻 2年 宮 本 侑 季
- 18 短期大学部人間健康科介護福祉専攻 2年 中 尾 智 美
- 19 短期大学部幼稚園教育保育科 2年 二 神 柚 葵
- 20 短期大学部音楽科 2年 近 藤 菜 央

【芸術・スポーツ・その他の分野】

〈芸 術〉

- 21 文学部書道文化学科 4年 郡 彩 佳
- 22 文学部書道文化学科 4年 見 世 亜紀子
- 23 文学部書道文化学科 4年 三 宅 萌 子
- 24 生活科学部生活科学科 4年 宗 本 真里奈

〈スポーツ〉

- 25 生活科学部管理栄養士養成課程 4年 板 東 璃 奈

キャリア教育について - 悩みは人生の肥やし -

キャリア教育支援課 渡部 俊彦

大学教育において重要視されているのが、大学入口におけるリメディアル教育と出口に向けてのキャリア教育です。キャリアとは「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と、働くこととの関係づけや価値づけの累積」のことです。人間はどうして働かなければならないのか、自分にとっての適職は何か、この社会にはどのような職種があるのか等について知り、考える機会を提供し、その機会を利用して、学生一人ひとりがそれぞれの経験を活かして将来設計をし、自分の生活を見つめ、生き方を考えていくきっかけにするのがキャリア教育です。

本学では平成26年度よりキャリア教育の充実のため新しいキャリア科目を設け、「就業力育成カリキュラムマップ」により、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら「自分らしい生き方」を実現する力をつけるためのカリキュラムをスタートさせました。このように「学生が社会人・職業人として自立できる力」すなわち「就業力の育成」に焦点を当てた教育を進めています。さらに、キャリアセンターでは、1年次より様々なプログラムを実施し、各種ガイダンス、セミナー等を通した進路の見極めへの学習を進め、学生の可能性を広げ、伸ばす支援をしています。年2回実施している就業力育成セミナー（写真1・2）やプチジョブカフェもその一環です。また、教員・公務員試験対策講座の計画・実施や受講に関する相談、外部専門家の臨床心理士を中心としたキャリアカウンセリングの実施等、キャリアセンター教職員総出で、学生一人ひとりを全面的にバックアップしています。

皆さんにお願いしたいのは、「悩み」を自分一人で抱え込まないことです。学校生活だけでなく社会生活においても様々な壁にぶつかり、悩みを抱えることが多々あ

ります。そんな時必要なことは一人で抱え込まずに、様々な人に相談することです。自分の思いを吐露し、その人にしっかり聞いていただき、何らかのアドバイスをいただいて取捨選択し自分で判断して、前を向くことが肝心です。

私達も皆さんの心に寄り添い、誠意を持ってきちんと聴きとり、何らかのアドバイスができるようにしたいと思います。皆さんが一步步確実に歩み、大学生活が有用なものとなることを期待するとともに、私達も共に歩むことをお約束します。



学生寮

防災避難訓練および新入寮生歓迎会

4月23日(土)、学生寮の63名は火災や地震の災害に対し被害を最小限に食い止め、早く安全な場所に避難することを目的に防災避難訓練を実施しました。

徳島東消防署と川内消防隊の計6名の指導で、消火訓練と地震体験訓練を体験しました。南海地震を想定し、マグニチュード8.4、震度6弱の強い揺れ、東海から太平洋沿岸の広い範囲に6mを超える津波の発生、死傷者12,000名、倒壊家屋277,000棟の被害、との設定でした。親元を離れて暮らしている私たちは、「自分の命は自分で守る!」ということを実感しました。

新入寮生歓迎会では、先輩・新

入寮生・留学生の垣根を取り払い、コミュニケーションを深め楽しい時を過ごしました。



平成28年4月19日(火)に、本学の共通講義棟R101教室にて、学生支援GP報告会を開催しました。平成27年度学生支援GPに教育研究活動及び、社会・地域貢献、大学関連グッズの開発等に関わる学生の自主的な取り組みが14プロジェクト採択され、昨年6月中旬より活動が行われました。

報告会では、350人を超える在学生および教職員の前で、今回のプロジェクト活動内容の報告・今後の課題・後輩たちへのメッセージを含めて発表しました。制度創設以来今回で5年目の報告会であり、活動内容、発表とも充実したものとなりました。参加者からは「どのプロジェクトも参加者が生き生きしていた。」「ジャンルが多彩で自分も参加してみたい。」「各学科の特色が出て良かった。」「後輩へのメッセージを直に聞いて励みになった。」「自分の得意分野で地域活性に貢献できて素晴らしいと思った。」などの声が上がリ、今後の学生生活のモチベーション向上にもつながる報告会となりました。

四国大学学生プロジェクト支援事業(学生支援GP※)とは、四国大学(短期大学部を含む)において、学生が自主的に取り組む教育研究、課外活動及び社会・地域貢献などに関わるプロジェクトを支援し、学生の創造性や自主性を高め、人間的成長を促すことを目的とした支援事業です。

※GPとは「Good Practice(優れた取り組み)」の略です。

No	プロジェクト名	グループ
1	四国大学発 ブックトーク プロジェクト ーつなげ！人と本！ー	文学部日本文学科
2	よみがえり！地域の文化遺産 ー四国大学発信ー	文学部日本文学科
3	四国大学 PR グッズ開発プロジェクト ーしこぼんわーどー	生活科学部生活科学科
4	子育て応援パフォーマンス キャラバン隊	生活科学部児童学科
5	スタジアム学園祭 2015	経営情報学部経営情報学科
6	児童学科盛り上げ隊	生活科学部児童学科
7	つなげよう!!FUKUTOKU ☆ ー福島を通して徳島の保育を考えるー	生活科学部児童学科
8	あすたむらんど徳島クリスマスイベント	経営情報学部経営情報学科
9	All for smile, smiles for all ーお母さんのリフレッシュ応援隊ー	短期大学部幼児教育保育科
10	四国大学発 国際交流サークル ー教室を飛び出せ！みんなの国際交流ー	文学部国際文化学科
11	「Dancing Power」 ーコミュニケーションダンスで地域貢献ー	生活科学部児童学科
12	管栄「藍」のプロジェクト ー藍のバウンダーキ製作・販売と藍の機能性成分に関する研究展示ー	生活科学部管理栄養士養成課程
13	四国大学短期大学部音楽科「出前ライブ」 ー音楽の感動を届けようー	短期大学部音楽科
14	人とサル共生プロジェクト ー木頭ゆずちぎりたい(隊)！ー	学生ボランティア活動支援室



活動報告会の様子



No9 All for smiles, smiles for all
ーお母さんのリフレッシュ応援隊ー



No12 管栄「藍」のプロジェクト
ー藍のバウンダーキ製作・販売と藍の機能性成分に関する研究展示ー



No14 人とサル共生プロジェクト
ー木頭ゆずちぎりたい(隊)！ー

学校法人四国大学 平成27年度決算及び28年度予算

1 資金収支計算書

(収入の部) (単位: 千円)

科 目	平成27年度決算	平成28年度予算
学生生徒等納付金収入	3,028,930	3,068,806
手数料収入	34,772	34,155
寄付金収入	8,911	3,360
補助金収入	982,823	761,804
資産売却収入	1,477,311	1,730,000
付随事業・収益事業収入	100,541	105,279
受取利息・配当金収入	104,133	92,800
雑収入	265,822	217,232
借入金等収入	400,000	600,000
前受金収入	638,623	615,426
その他の収入	1,655,876	1,317,461
資金収入調整勘定	△1,239,757	△775,278
前年度繰越支払資金	2,477,125	2,530,876
収入の部合計	9,935,108	10,301,921

(支出の部)

科 目	平成27年度決算	平成28年度予算
人件費支出	2,569,868	2,675,004
教育研究経費支出	735,182	781,241
管理経費支出	192,479	186,189
借入金等利息支出	4,516	4,760
借入金等返済支出	233,712	205,672
施設関係支出	1,249,138	881,883
設備関係支出	252,450	176,258
資産運用支出	1,644,375	1,961,700
その他の支出	792,619	826,376
予備費		26,000
資金支出調整勘定	△257,633	△215,831
次年度繰越支払資金	2,518,401	2,792,669
支出の部合計	9,935,108	10,301,921

*上記の表の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

*学校法人会計基準の一部改正により、平成27年度予算から様式等が変更されました。

2 事業活動収支計算書

(単位: 千円)

科 目	平成27年度決算	平成28年度予算
学生生徒等納付金	3,028,930	3,068,806
手数料	34,772	34,155
寄付金	9,636	3,360
経常費等補助金	613,170	661,804
付随事業収入	99,089	103,879
雑収入	270,822	217,232
教育活動収入計	4,056,418	4,089,236
人件費	2,605,640	2,631,669
教育研究経費	1,174,889	1,241,654
管理経費	241,400	237,925
徴収不能額等	5,000	5,000
教育活動支出計	4,026,929	4,116,248
教育活動収支差額	29,489	△27,012
受取利息・配当金	104,133	92,800
その他の教育活動外収入	1,453	1,400
教育活動外収入計	105,585	94,200
借入金等利息	4,516	4,760
教育活動外支出計	4,516	4,760
教育活動外収支差額	101,069	89,440
経常収支差額	130,558	62,428
資産売却差額	94,636	80,000
その他の特別収入	373,772	100,000
特別収入計	468,408	180,000
資産処分差額	57,820	25,771
その他の特別支出	68,225	68,225
特別支出計	126,045	93,996
特別収支差額	342,363	86,004
[予備費]		26,000
基本金組入前当年度収支差額	472,921	122,432
基本金組入額合計	△708,690	△371,844
当年度収支差額	△235,769	△249,412
前年度繰越収支差額	2,230,290	1,781,643
翌年度繰越収支差額	1,994,521	1,532,231

3 貸借対照表

(資産の部) (単位: 千円)

科 目	平成27年度末
固定資産	28,177,019
有形固定資産	18,310,829
特定資産	9,537,404
その他の固定資産	328,786
流動資産	3,161,377
資産の部合計	31,338,396
(負債の部)	
固定負債	1,609,180
流動負債	1,122,884
負債の部合計	2,732,064
(純資産の部)	
基本金	
第1号基本金	25,496,318
第2号基本金	548,424
第3号基本金	310,531
第4号基本金	256,537
基本金合計	26,611,811
繰越収支差額	1,994,521
翌年度繰越収支差額	1,994,521
純資産の部合計	28,606,332
負債の部及び純資産の部合計	31,338,396
減価償却額の累計額の合計	7,560,157
徴収不能引当金の合計	5,000
基本金未組入額	1,042,448

第67回 四国地区大学総合体育大会(四国インカレ) 高知県で開催



— 女子サッカー中心に上位進出期待!! —

第66回四国地区大学総合体育大会が6月24日(金)～7月10日(日)の期間、高知県内各会場で開催されます。本学からは17競技に282名が参加します。団体では昨年度準優勝の女子サッカー、女子弓道、女子ソフトボール。個人競技でも女子水泳、女子弓道を中心に活躍が期待されます。本学参加競技の日程・会場等は表の通りです。



四国インカレ日程・会場一覧(四国大学生出場種目のみ)

競 技	日 時	会 場
卓 球	6月24日(金)・25日(土)	高知市総合体育館
水 泳	6月25日(土)・26日(日)	高知市東部総合運動場くろしおアリーナ
バスケットボール	6月25日(土)・26日(日)	県立春野総合運動公園体育館
剣 道	6月26日(日)	県立武道館
ソフトテニス	7月1日(金)～3日(日)	高知市東部総合運動場テニスコート
サッカー(男子)	7月2日(土)・3日(日)	野市ふれあい広場
ハンドボール	7月2日(土)・3日(日)	高知県立大学池キャンパス体育館
バレーボール	7月2日(土)・3日(日)	県立春野総合運動公園体育館
軟式野球	7月8日(金)～10日(日)	高知市東部総合運動場野球場(8～10日)
硬式庭球	7月8日(金)～10日(日)	県立春野総合運動公園テニスコート・高知市総合運動場テニスコート
バドミントン	7月8日(金)～10日(日)	県立春野総合運動公園体育館(8・9日)・高知市総合体育館(10日)
少林寺拳法	7月9日(土)	高知大学北体育館(朝倉キャンパス)
フットサル(女子)	7月9日(土)	高知工科大学体育館
陸 上	7月9日(土)・10日(日)	県立春野総合運動公園陸上競技場
サッカー(女子)	7月9日(土)・10日(日)	県立春野総合運動公園球技場
弓 道	7月9日(土)・10日(日)	県立弓道場
フットサル(男子)	7月9日(土)・10日(日)	高知市総合運動場多目的ドーム
ソフトボール	7月9日(土)・10日(日)	県立春野総合運動公園ソフトボール場 A・運動広場 C・D
柔 道	7月10日(日)	県立武道館

平成29年度 入試日程

●推薦入試・一般入試

推 薦 入 試	一 般 入 試		
	I 期	S 型	II 期
10/30(日)	1/29(日)	2/13(月)	3/6(月)

●大学入試センター試験利用入試

試 験 日	出 願 締 切 日		
	前 期	中 期	後 期
1/14(土)～15(日)	2/3(金)	2/28(火)	3/13(月)

●AO入試(体験型)(面談日)

①	②	③	④	⑤
6/19(日) (短期大学部のみ)	7/18(月) (短期大学部のみ)	8/7(日)	8/21(土)	9/19(月)

※管理栄養士養成課程および看護学科は実施しません

●AO入試(自己推薦型)(面談日)

I 期	II 型	III 期
9/24(土)	12/10(土)	3/19(日)

●スポーツ分野特別入試

I 期	II 型	III 期
9/24(土)	12/10(土)	2/11(土)

※看護学科は実施しません

●芸術分野特別入試

I 期	II 型	III 期
9/24(土)	12/10(土)	2/11(土)

出願の資格や入試日程など、詳細は四国大学ホームページ(<http://www.shikoku-u.ac.jp>)でご確認ください。

第56回 芳藍祭

テーマ決定!!



今年のテーマは

「藍 am a perfect human～2016年のページを開こう～」です。

5月より実行委員会を開催し、本番に向けて活動が始まりました。

開催日:11月11日(金)～13日(日)

見つけよう、君の未来。

オープンキャンパス Open Campus 2016

開催日程

第1回	2016年6月19日(日)	10:00～16:00
第2回	2016年7月18日(月・祝)	10:00～16:00
第3回	2016年8月7日(日)	10:00～16:00
第4回	2016年8月21日(日)	10:00～16:00
第5回	2016年9月19日(月)	10:00～16:00

参加希望日の前日までに、はがき、ホームページ、スマホサイト、電話またはFAXで、高校名、氏名、希望学科を連絡してください。

※音楽科体験レッスン希望者は、ホームページまたはお電話にてお申し込みください。

申込先

〒771-1192 徳島市応神町古川 四国大学 広報課

☎0120-65-9906(平日9:00～17:30) FAX 088-665-9907

URL <http://www.shikoku-u.ac.jp/>

スマートフォン用 <http://www.shikoku-u.ac.jp/sp/>

スマホサイト

